



Collaboration City 21

社団法人 三原青年会議所新聞



2001年2月20日

発行(社)三原青年会議所
編集/広報委員会
三原市皆実4丁目8番1号
(三原商工会議所内)
TEL(0848)63-3515
FAX(0848)62-1141
インターネットアドレス
http://www.tako.ne.jp/~mjc/
Eメールアドレスmjc@tako.ne.jp

2001年三原JCスローガン

言行一致

今、JCメンバーとして...

今月号の記事

- 1面 「広域まちづくり研究会」参加者大募集
- 2面 } 2001年みはら四者座談会
- 3面 } どうなるみはら!どうするみはら!
- 4面 新入会員大募集! / 市民活動団体の調査にご協力下さい / 三原やっさもっさもっさもっさ祭り
キャンペーンテーマ募集中

みたか
きいたか



21世紀を迎え、今、時代は大きな変革の時にある。なかでも「教育改革」は、親世代を中心に全国的な関心事ではないだろうか。最近の青少年による悲惨な事件が相次ぐなか、善悪をわきまえる心や命の尊さ、感謝する心、公共心など「心の教育」をどう行うか、早期の取り組みが必要だ。首相の私的諮問機関「教育改革国民会議」が、昨年未、小、中、高校で全員に奉仕活動をさせるよう提言した。文部科学省では、2002年度から各学校に奉仕活動の導入を促す方針だ。兵庫県で始まった「トライやるウィーク」をきっかけに、全国に体験活動の様々な取り組みが広がっている。三原でも、昨年11月、広大附属三原中学校が、(社)三原青年会議所と共同で「わくわくWORKみはら」という職場体験活動を行った。その後の生徒たちの感想文をみると、あいさつの大切さや仕事の大変さ・厳しさ、職場の人の優しい対応に感動したこと、他人を思いやる心の大切さなど、学校内の教育だけでは教えることのできないことも、この体験活動を通じて生徒たちが数多く学びとったことがわかった。今後、市内の各中学校でも、体験活動への取り組みが始まっていく。そこで大切なのは「心の教育」をどう行っていくか、学校、家庭、地域が「三位一体」となり、地域社会全体で教育について議論を深めることではないだろうか。21世紀の明るい未来は「教育の再生」を抜きにはあり得ない。



「広域まちづくり研究会(仮称)」 2月23日(金)いよいよ開催! 参加者大・募・集!!

(社)三原青年会議所は一昨年の「小早川市」構想の発表以来、住民・議員アンケートの実施及び検証、広域連携フォーラムの開催などを行うことで地域住民のニーズを集め、その結果として、まずは1市3町(久井町・瀬戸田町・本郷町・三原市)における合併の推進が必要であるとの結論に至りました。

しかしながら、合併というものは、ただ単に独立したまち同士がひとつになればそれでよいというものではありません。合併後のまちは、参加した全ての地域の住民が等しく、そのまちの発展を受け入れられるものでなければなりませんし、だからといって地域の個性やアイデンティティーを失わせるものであってはなりません。

このような意味で合併は、メリットとデメリットとが表裏一体となった課題を数多く抱えるまちづくりといえましょう。そして、そのようなまちづくりだからこそ、そこで生活してゆく私たち地域住民自身が、合併後のまちの姿について自ら議論を尽くし、自ら選択を重ね、その理想に向かって自らの手で推進してゆくという「住民主導による合併」という手法で行われなければならないはずです。

そこで、1市3町に住む全ての人々が立場を超えて合併を考え、議論し、検討できる場として「広域まちづくり研究会(仮称)」を設立いたします。ひとりでも多くのご参加をお待ちしております。

第1回 広域まちづくり研究会(仮称)開催

日時 2月23日(金) 18:30~20:00
内容 第1回「広域まちづくり研究会(仮称)」
設立趣旨説明
勉強会(県内動向ほか)
今後の運営について
場所 三原市中央公民館(三原市円一町2-3-1)

「広域まちづくり研究会(仮称)」 参加者募集要項

募集内容

1市3町(久井町、瀬戸田町、本郷町、三原市)にお住まいの方で「広域まちづくり研究会(仮称)」に参加してみようとお考えの方をメンバーとして登録し、開催等のご案内を差し上げます。(第1回に参加できない方もかまいません)

応募方法

①住所、②氏名、③職業、④年齢、⑤性別、⑥電話番号、⑦FAX番号、⑧Eメールアドレス(お持ちの方)、⑨第1回「広域まちづくり研究会(仮称)」への参加の有無
をご記入の上、FAXもしくはEメールで(社)三原青年会議所事務局までご応募下さい(FAXまたはEメールをお持ちでない方はお電話でも結構です)。

県内の市町村合併をめぐる主な動き(中国新聞2001年1月9日より転載)

地域	人口	取り組み
安芸郡江田島、佐伯郡能美、沖美、大柿町	(約3万5千人)	2002年の合併を目指し、合併研究協議会を設置。
豊田郡大崎、東野、木江城	(約1万1千人)	2003年の合併を目指し、合併研究協議会を設置。
福山市、芦品郡新市、沼隈郡内海町	(約40万4千人)	三好章福山市長が、新市、内海両町との合併先行協議を表明。検討資料作り着手。
呉市、賀茂郡黒瀬、安芸郡熊野、坂、音戸、倉橋、下蒲刈、蒲刈、豊田郡安浦、川尻、豊浜、豊町	(約32万2千人)	呉市と音戸、倉橋、下蒲刈、蒲刈、安浦、川尻、豊浜、豊町の9市町で合併問題協議会を設置。呉市と熊野、坂、黒瀬町の4市町で広域行政研究会を設置。
尾道市、御調郡向島、御調町	(約12万人)	尾道市が向島、御調町との合併を視野に合併推進協議会を設置。
廿日市市、佐伯郡佐伯町	(約8万4千人)	広域行政調査研究会を設置。
三次市、双三郡吉舎、三良坂、三和町、君田、布野、作木村	(約6万人)	合併問題調査検討会を設置。
庄原市、比婆郡西城、東城、口和、高野、比和町	(約4万7千人)	合併問題調査研究連絡協議会を設置。
山県郡加計、戸河内、芸北、大朝、千代田、豊平町、筒賀村	(約3万3千人)	広域合併問題研究会を設置。
世羅郡甲山、世羅、世羅西町	(約2万1千人)	合併問題調査会を設置。
神石郡油木、神石、三和町、豊松村	(約1万3千人)	正副議長らで合併研究協議会を設置。首長や助役らで合併問題研究協議会を設置。
甲奴郡上下、総領、甲奴町	(約1万2千人)	合併問題研究協議会を設置。

応募及びお問い合わせ先

(社)三原青年会議所 事務局
三原市皆実4-8-1

TEL:0848-63-3515

FAX:0848-62-1141

Eメール:mjc@tako.ne.jp

担当: 地域主権実践委員会
(大名、松浦)

本紙『やっさもっさも』は、1月から11月まで毎月1回発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

やっさもっさもは資源保護のため再生紙を利用しています。